Protistology Newsletter

August, 2016

日本原生生物学会会報（No. 31）

URL ： http://protistology.jp/

第 49 回大会（岡山）のご案内（第 2 報）
平成 27 年度 学会賞 受賞者コメント
平成 27 年度 BPA 受賞者コメント
学会活性化委員会からのお知らせ
若手の会 通信
Life is small ースマホ顕微鏡ワールドへようこそー開催報告
事務局からのお知らせ
編集委員会からのお知らせ

第 49 回 日本原生生物学会大会（岡山）のご案内（第 2 報）

大会長　安藤 元紀（岡山大学）

第 49 回 日本原生生物学会大会は，**10 月 8 日（土）から 10 日（月）までの 3 日間，岡山大学（津島キャンパス）**にて開催されます．本年は例年より 1 ヵ月早い会期となります．皆様のご参加をお待ちしております．詳しくは，岡山大会ホームページ（以下 URL 参照）をご覧ください．**事前登録は 7 月 1 日（金）～ 9 月 2 日（金）となっております**．今後は大会ホームページにて随時情報の更新を行いますので，各自で定期的にご確認ください．

岡山大会ホームページ URL：https://edu.okayama-u.ac.jp/jsp49okayama/index.html

事務局連絡先 E-mail：jsp49@okayama-u.ac.jp

1. 会期　**2016 年 10 月 8 日（土）～ 10 月 10 日（月）**

2. 会場

岡山大学（津島キャンパス） 岡山市北区津島中 1 丁目 1 番 1 号
[受付] 一般教育棟 A 棟 正面玄関 北側入口付近
[一般講演・総会・シンポジウム] 4 階 A41 講義室
[若手の会シンポジウム] 4 階 A41 講義室
[ポスター発表会場] 4 階 A41 講義室前スペース
[評議員会・各種委員会] 4 階 A43 あるいは A42 講義室
[懇親会] 大学生協 レストラン
[休憩所] 4 階 ラウンジスペース

3. 岡山大会実行委員会構成

[大会長] 安藤 元紀
[実行委員] 洲崎 敏伸，園部 誠司，石田 秀樹，末友 靖隆，池田 理佐

4. 日程（予定）

10 月 8 日（土）

10 : 30 － 12 : 00	編集委員会（A43）
12 : 00 －	受付開始
13 : 00 － 14 : 00	大会実行委員会（A42）
14 : 00 － 16 : 00	評議委員会（A43）
13 : 00 － 16 : 00	ミクロ生物フェスティバル：観察会＆スマホ顕微鏡ワークショップ（B301 / A36）（若手の会共催）
16 : 15 －17 : 30	若手の会シンポジウム（一般公開）（A36）
18 : 30 －20 : 30	若手の会・評議員委員会合同懇親会

10 月 9 日（日）

08 : 50 － 09 : 00	開会式（A41）
09 : 00 － 12 : 00	口頭発表 1 （A41）
12 : 00 － 13 : 00	昼食
13 : 00 － 14 : 30	口頭発表 2 （A41）
14 : 30 － 17 : 00	大会シンポジウム（A41）
17 : 00 － 18 : 30	総会（A41）
18 : 30 － 20 : 30	大会懇親会（生協レストラン）

10 月 10 日（月）

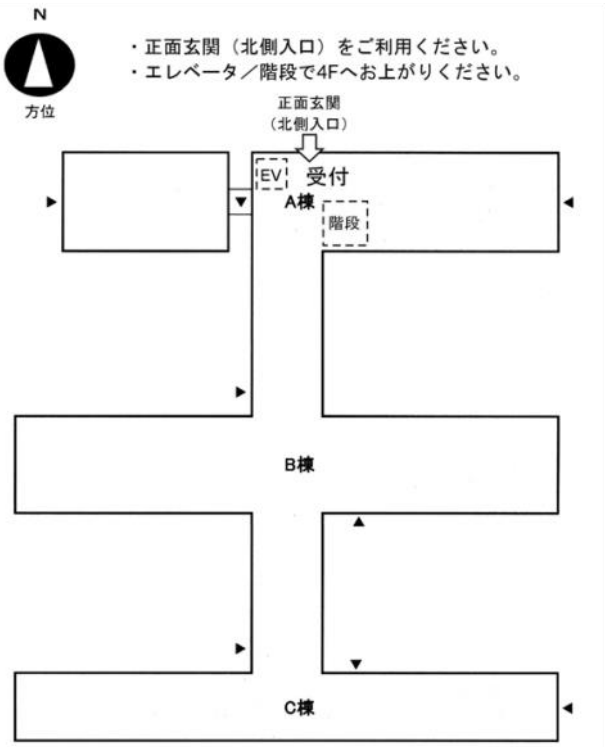
09 : 00 － 10 : 30	口頭発表3（A41）
10 : 30 － 10 : 45	記念撮影
10 : 45 － 13 : 00	ポスター発表（A41 前）・昼食
13 : 00 － 14 : 30	口頭発表 4 （A41）
14 : 30 － 15 : 30	BPA 授賞式・閉会式（A41）

※ 発表申込数によりスケジュールを変更する可能性があります．最新スケジュールは第 49 回 岡山大会ホームページ（https://edu.okayama-u.ac.jp/jsp49okayama/index.html）をご参照いただくか，大会事務局（E-mail：jsp49@okayama-u.ac.jp）までお問い合わせください．

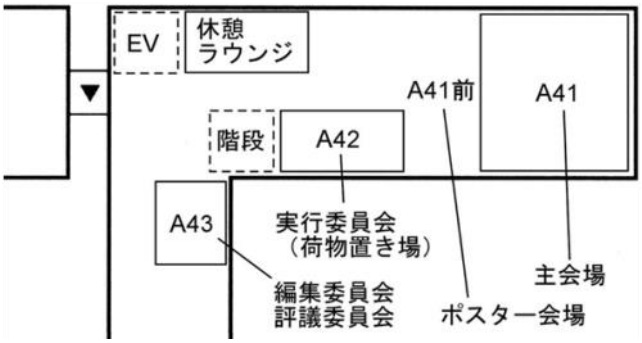
第 49 回　日本原生生物学会　岡山大会　日程表（予定）

	10 月 8 日（土）		10 月 9 日（日）	10 月 10 日（月）
			開会式	
09:00			口頭発表 1 （A41）	口頭発表 3 （A41）
10:00				
11:00	編集委員会 （A43）			記念撮影 ポスター発表 （A41 前）
12:00			昼食	昼食
13:00	大会実行委員会 （A42）	原生生物 フェスティバル （B301 / A36）	口頭発表 2 （A41）	口頭発表 4 （A41）
14:00	評議委員会 （A43）			
15:00			大会シンポジウム （A41）	BPA 授賞式・ 閉会式
16:00				
		若手の会 シンポジウム （A36）		
17:00			総会（A41）	
18:00				
19:00	若手の会・評議委員会 合同懇親会		大会懇親会 （大学生協・ レストラン）	
20:00				

岡山大学津島キャンパス・一般教育棟（1F）



岡山大学津島キャンパス・一般教育棟A棟（4F）拡大図



[会場について]

1. 宿泊情報

岡山駅周辺には多数のホテルがありますので，各自でご予約頂きたくよろしくお願い致します．以下，アクセス情報にありますように，岡山駅からバスで 10 分程度で大学に到着します．また，飲食等も駅周辺が便利です．

2. アクセス情報

・ JR 岡山駅より（バス）
岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車
↓
「岡大入口」，「岡大西門」，「福居入口」又は「岡大東門」で下車
↓
本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります．
※岡山駅からの所要時間約 7 ～ 10 分
・ JR 岡山駅より JR 津山線に乗り換え
↓
「法界院」駅（徒歩約 10 分）
・岡山空港より
岡山空港 2 番乗り場から「岡山駅西口」行に乗車
↓
「岡山大学筋」で下車，徒歩約 7 分．
ノンストップ便は「岡山駅」で下車，岡山駅からの各種交通機関を利用

3. 岡山大学津島キャンパスの案内図

詳細は岡山大会ホームページのアクセス情報（https://edu.okayama-u.ac.jp/jsp49okayama/access.html）をご参照ください．

JR岡山駅から会場までのアクセス

4．昼食

生協カフェテリア（ピーチユニオン）が利用可ですのでそちらをご利用下さい．徒歩 10 分程度でコンビニエンスストアがあります．

5．荷物・貴重品等の管理

大会中，クローク等はご用意いたしません．**大きな荷物等は A42 講義室後ろにスペースを設けますので，そちらに置いてください．貴重品等を含め，荷物は各自で管理をお願いします．**

[参加予定の皆様へ]

1．事前登録

事前登録開始 7 月 1 日（金）　　事前登録締切 9 月 2 日（金）

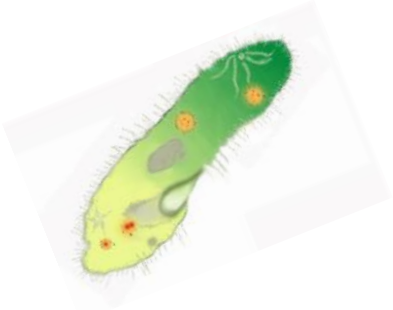
※参加登録は上記締切以降も受け付けますが，参加費が変わります（2．諸経費の事前支払い参照）．

2．諸経費の事前支払い

事前参加登録後は，大会参加費および大会懇親会費については，以下の要領で事前支払いをお願いします．**事前支払いの期限は，事前参加登録メール送信後一週間以内とします．** 振込金額の総額*は，以下を参照し各自で該当する金額を計算してください．（参加申込用フォーマットの『11）振込金額（総額）（円）：』に記入）

「大会参加費」

一般会員 **3,000 円**（事前登録の場合）
一般会員 **4,000 円**（事前登録締切以降の場合）
学生会員 **1,000 円**（発表のない学生は無料）



「大会懇親会費」

一般会員 **4,000 円**
学生会員 **2,000 円**

＊ 振込金額（総額）の例

・一般会員で学会参加のみ→ **3,000 円**（事前登録の場合）
・一般会員で学会および懇親会参加→ **7,000 円**（事前登録の場合）
・学生会員で学会参加のみ→ **1,000 円**（発表あり），**0 円**（発表なし）
・学生会員で学会および懇親会参加→ **3,000 円**（発表あり），**2,000 円**（発表なし）

「若手の会・評議委員会 合同懇親会費」（当日徴収，参加者のみ）．

一般会員 **4,000 円**
学生会員 **2,000 円**

「留意事項」

・事前申込締切以降の一般会員・非会員の大会参加費は **4,000 円**となります．
・給与のある「ポスドク」は一般会員となります．
・発表する学生会員については，事前登録の如何に関わらず大会参加費は **1,000 円**となります．

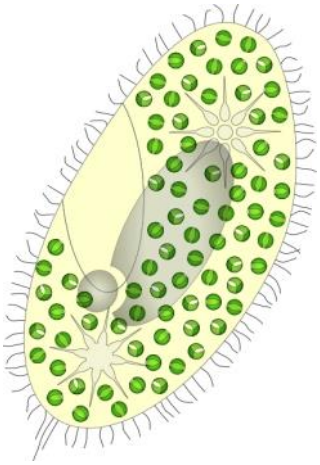
「振込み方法」

Ⅰ．振込用紙を使った郵便局からの入金の場合

振込金額：該当する金額（総額）を以下の口座へ入金して下さい．
口座名称：日本原生生物学会第 49 回岡山大会
（ニホンゲンセイセイブツガッカイダイヨンジュウキュウ）
口座記号番号： **01350-7-104928**
通信欄の記入事項：氏名，所属，連絡先 Tel，E-mail
※振込手数料は各自ご負担下さい．

Ⅱ．ゆうちょ銀行ATMおよび他銀行等からの入金の場合

振込金額：該当する金額（総額）を以下の口座へ入金して下さい．
口座名称：日本原生生物学会第 49 回岡山大会
（ニホンゲンセイセイブツガッカイダイヨンジュウキュウ）
店名：一三九（イチサンキュウ）店（**139**）
預金種目：当座
口座番号： **0104928**
※振込手数料は各自ご負担下さい．



3．参加登録

発表演題の申込みは，以下「参加申込用フォーマット」を電子メールにそのまま貼り付けて大会事務局へお送りください．

・件名は「参加登録，○○○○（←登録者氏名）」としてください．

・大会事務局 E-mail：jsp49@okayama-u.ac.jp

※尚，電子メールをご利用にならない場合は，**Tel & Fax 086-251-7753**（大会事務局）までお問い合わせください．

4．参加申込用フォーマット

・・

「参加申込」

1）郵便番号：

2）住所：

3）所属：

4）氏名（ふりがな）：　　　　　　　　（　　　　　　　）

5）電子メールアドレス：

6）電話番号：

7）参加費区分：　一般　・　学生　（どちらかを消去）

8）発表：　あり　・　なし　（どちらかを消去）

9）大会懇親会：　参加　・　不参加　（どちらかを消去）

10）振込み予定日：

11）振込み金額（総額）（円）：

・・

※ 11）の「振込み金額（総額）」については参加者により異なりますので，「2．諸経費の事前支払い」でご確認ください．

[講演予定の皆様へ]

1．演題登録期間

登録開始 7月 1日（金）　　登録締切 9月 2日（金）

2．講演区分

・講演の発表は 1人 1題とし，発表者は会員に限られます．口頭発表あるいはポスター発表のどちらかをお選び下さい．申込数によっては発表形式の変更をお願いする場合もありますことを予めご了承下さい．

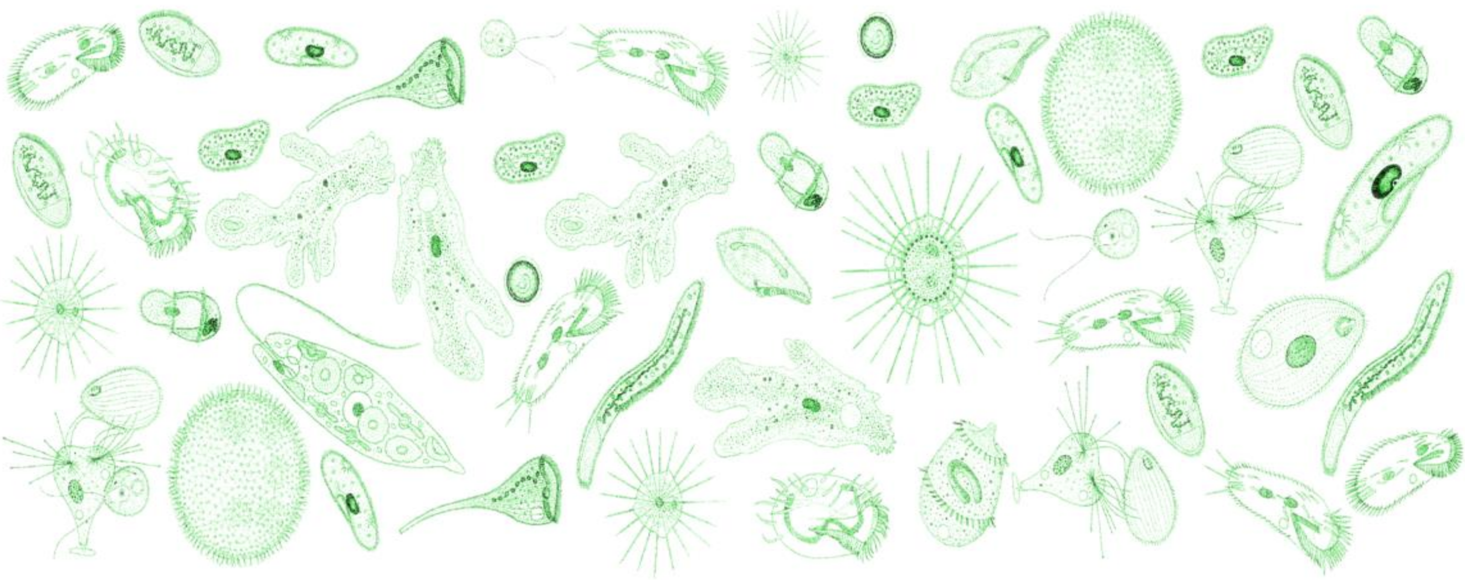
・35歳以下（平成28年6月30日現在）の筆頭発表者を対象とした「ベストプレゼンテーション賞（BPA）」が選考，授与されます．該当する発表者は「BPA審査対象の講演」である旨，要旨をご提出頂くときに明記して下さい．

3．演題登録

発表演題の申込みは，以下の「プログラム掲載用要旨作成要領」に従って作成し，参加申込みと共に，添付ファイルとしてメールにて大会事務局に送信してください．

・件名は「演題登録，○○○○（←登録者氏名）」としてください．

・大会事務局 E-mail：jsp49@okayama-u.ac.jp



4. プログラム掲載用要旨作成要領

下記フォーマットに従い，MS-Word で作成してください．ファイル名は著者の英名を入れてください．

・例えば，著者名が「池田 理佐ほか」の場合「Ikeda_et_al. docx 」のように明記してください．

・ Mac ユーザーはファイル名に “. doc” の拡張子を付けてください．

・・

「プログラム掲載用要旨」

1）和文タイトル

2）和文発表者氏名（全員）（所属）

※共同研究の場合は発表者の前に○を付けてください．所属が異なる場合は上付きの 1，2，3 …で区別してください．

3）英文タイトル

4）英文発表者氏名（全員）（所属）

※共同研究の場合は発表者の前に○を付けてください．所属が異なる場合は上付きの 1，2，3 …で区別してください．

5）和文要旨（全角 400 字以内），または英文要旨（150 words 以内）．

※英文は著者の責任で適切な校閲を行った上でご提出ください．

6）35 歳以下（平成 28 年 6 月 30 日現在）の筆頭発表者を対象とした「ベストプレゼンテーション賞（BPA）」が選考・授与されます．

発表者は「BPA 審査対象の演題」として登録を希望しますか？　登録する ・ 登録しない　（どちらかを消去）

7）発表者は日本原生生物学会の会員ですか？　会員である ・ 会員でない（どちらかを消去）

8）希望の発表形式：　口頭発表 ・ ポスター発表　（どちらかを消去）

・・

5. 発表方式

・口頭発表を予定されている方

1）**発表時間は 15 分です（発表 12 分，討論 3 分）**．発表演題数により発表時間の変更をお願いする場合がありますので，その際はご協力をお願い致します．

2）発表には液晶プロジェクターを使用します．各自でパソコン（PC）をお持ちください．

3）PC の操作は発表者にお願いします．プロジェクターとの相性問題がありますので，予め動作確認をお願いいたします（午前中の発表の方は開始前または中休みの間に，午後に発表の方は昼休みにお願いします）．**液晶プロジェクターのコネクターは，一般的なミニ D-Sub 15 ピンとなります．HDMI 端子は接続できませんので，アダプターは各自でご持参ください．35 ㎜ スライドおよび OHP は使用できません．**

4）万一に備えて，予備の PC を設置しますので，動作確認の際に同じファイルを入れておいて下さい．ファイルは大会終了後に責任をもって消去致します．

・ポスター発表を予定されている方

1）**ポスター発表のスペースは一人当たり，縦 180 cm，横 90 cm 以内です**．貼り付けに使う画鋲は会場にて用意します．

2）**会場は A41 前（主会場前）のオープンスペースになります**．各パネルに演題番号がありますので，割当のパネルに掲示して下さい．**掲示は 9 日（日）から可能です．10 日（月） 10 時までには掲示を終えて下さい**．撤去は 10 日の閉会後以降（15 時以降）とし，閉会後しばらくして残ったポスターは事務局で処分いたします．

3）ポスターの事前受取や事後送付は行っておりません．

6. 応募資格

・学会大会での講演発表は学会員に限っております．予め入会手続きをお願いします．事前にチェックし，学会未入会の場合には講演を取り消すことがあります．

・学会入会は大会実行委員会ではなく，日本原生生物学会事務局庶務（gajsp@protistology.jp）にお申し込み下さい（ホームページ：http://protistology. jp/entry_sheet. html）．

[お問い合わせ]

お問い合わせは，大会事務局 E-mail：jsp49@okayama-u. ac. jp へご連絡ください．

※尚，電子メールをご利用にならない場合は，**Tel & Fax 086-251-7753 （大会事務局）**までお問い合わせください．

[岡山大会 事務局]

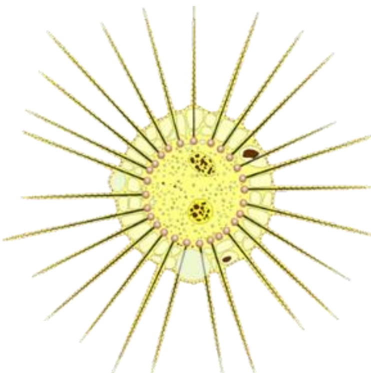
〒 700-8530 岡山市北区津島中 3 丁目 1 番 1 号

岡山大学大学院教育学研究科・自然教育学系・細胞生理学研究室

第 49 回日本原生生物学会 岡山大会 事務局　安藤 元紀

E-mail：jsp49@okayama-u.ac.jp

URL：https://edu.okayama-u.ac.jp/jsp49okayama/index.html



平成 27 年度学会賞受賞者コメント

園部 誠司（兵庫県立大学大学院）

沼田会長（左）と受賞者

この度は日本原生生物学会学会賞という名誉ある賞をいただき，まことに光栄に思っております．御推薦いただいた岩本 政明先生並びに選考委員の先生方に深く感謝いたします．

私は大学院時代は *Amoeba proteus* を材料としてアメーバ運動の研究をやっておりましたが，成果の発表は本学会ではなく，他の学会で行っておりました．その後研究テーマが植物細胞の細胞骨格に変わり，長い間本学会とはご縁がありませんでした．しかし，西原 絵里さん（2007 年奨励賞，元若手の会会長）が収縮胞の研究を始めて以来参加させていただくようになりました．したがって本学会とのご縁はまだ日が浅い新参者です．そのころから改めて原生生物のおもしろさに改めて気づかされ，どんどん深みにはまっていきました．そして多くの学生諸君と毎年大会に参加させていただくようになりました．学生諸君も一緒に深みにはまっていってくれて，多くのすばらしい成果を挙げてくれました．その結果，西上幸範君（*Amoeba proteus*，元若手の会会長）は一昨年奨励賞をいただき， BPA は谷口 篤史君（*Amoeba proteus*），岸本有加さん（ケイソウ），小橋川 剛君（吸管虫），梁瀬 隆二君（*Lacrymaria*，前若手の会会長），山岡 望海君（ケイソウ）らが受賞することができました．私の今回の受賞はまさに彼らのおかげであることを認識し，感謝しております．また，2012 年には姫路で第 45 回大会を開催させていただき，貴重な体験をさせていただくことができました．

原生生物の運動は本当に興味深く，不思議なものだらけです．細胞サイズが大きくて，運動速度が速いというだけで引き込まれてしまいます．しかし，逆にこれらはしばしば研究上の障害となります．大きな細胞は電子顕微鏡で全体像をつかむのに苦労します．また，速い運動は通常の撮影装置では正確に追うことができません．これらの困難を取り除くような工夫を機器メーカーが積極的にやってくれるとありがたいのですが．

原生生物（原生動物？）は進化の途上で単独の細胞で生きることを選択した孤高の生き物たちです．彼らは単細胞で生き残るためにさまざまな仕組みを作り出してきました．それらのしくみの解明に少しでも近づけるように今後も頑張っていきたいと思っております．また同時に，原生生物の面白さを多くの人に知ってもらい研究者仲間が増えることが私の希望です．

平成 27 年度 Best Presentation Award 受賞者コメント

松原 立真（MATSUBARA, Ryuma）
筑波大学大学院・生命環境科学研究科 博士 3 年

沼田会長（左）と受賞者

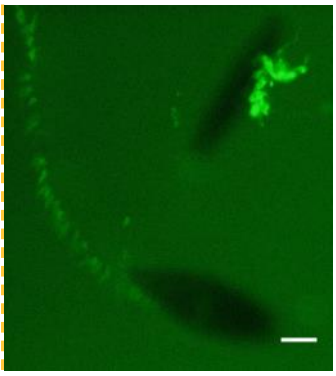
この度は，私たちの研究と発表を高く評価して頂き，BPA を受賞することができまして大変光栄に存じます．

私は寄生原虫という，原生生物のなかでも変わった生物を扱っています．医学的側面からしか見ていなかったこれらの原虫が，ゾウリムシと共通の形態的特徴をもつことを知った感動は今も忘れません．真核生物の広がり，大系統をはじめて意識した瞬間でした．このとき感じた生命進化のおもしろさは私の興味の根底に今も生きています．このような生命の横の広がりは，モデル生物の研究とはまた違った生物学の醍醐味ではないかと感じます．「生命に原則はなく，必ず例外が存在する」これも一つのドグマですが，原生生物を見ていると真理なように思えます．今後も原生生物の多様性，またそこから見えるかもしれない生命の普遍性を探求し，研究を進めていきたいと思います．この度は誠にありがとうございました．

山岡 望海（YAMAOKA, Nozomi）
兵庫県立大学大学院 生命理学研究科 博士 3 年

私が初めて学会に参加したのは，まだ日本原生動物学会の時で，ケイソウは多数の繊毛虫類の研究に埋もれて，何となくアウェーな感じでした．そのケイソウをテーマにした研究が，この度 BPA に選出されたことは，ケイソウも私も市民権を得たようで大変嬉しく思います．

イカダケイソウをはじめ一部のケイソウは滑るような運動を行います．この運動は細胞外に排出した粘液物質をアクトミオシンの作用で動かすことにより駆動されていると想定していますが，粘液物質の挙動は明らかになっていませんでした．今回，蛍光レクチンを用いて粘液物質と思われる物質の挙動を可視化したことは，単純な方法で興味深い結果を得るに至ったと思っております．今後もケイソウの運動の仕組みが解明されていくことを期待しております．



蛍光レクチンにより染まった運動の跡

沼田会長（左）と受賞者

最後になりましたが，ご指導ご助言を頂いた先生方と先輩方，そして一緒に実験をしてくれた後輩の岩田君にこの場を借りてお礼申し上げます．

学会活性化委員会からのお知らせ

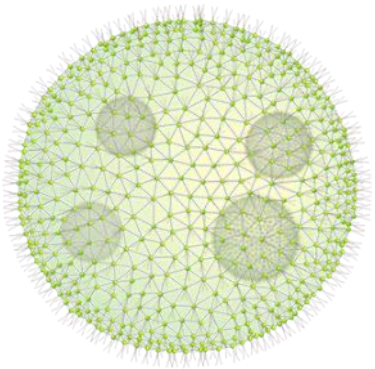
委員長　園部 誠司（兵庫県立大学大学院）

日本微生物生態学会において共催シンポジウムを開催します．皆様のご参加をお願い致します．

日本微生物生態学会 第 31 回大会
会期： 2016 年 10 月 22 日（土）～ 25 日（火）
会場：横須賀市文化会館（神奈川県横須賀市）
＊シンポジウムは 10 月 25 日（火） 10 : 20 － 12 : 30 です．

（内容）＜原生生物の環境センシングと運動＞
本シンポジウムでは，あらゆる生物に普遍的に観察される形質である「細胞運動」をキーワードとして，原生生物の複雑でダイナミックな運動機構や環境をセンシングして細胞応答を行う仕組み，それを応用した水環境のモニタリング装置の開発等について話題を提供していただく．

（講演者）
1. 上田 昌宏先生（大阪大・理学研究科，理研・生命システム研究センター）
「細胞性粘菌の濃度勾配センシングと走化性運動」
2. 稲葉 一男先生（筑波大・下田臨海実験センター）
「多機能運動装置ハプトネマが示す新規微小管系屈曲運動のメカニズム」
3. 園部 誠司先生（兵庫県立大・生命理学研究科）
「ケイソウの滑走運動機構」
4. 中垣 俊之先生（北大・電子科学研究所）
「テトラヒメナにおける空間形状への適応的遊泳」
5. 洲崎 敏伸先生（神戸大・理学研究科）
「タイヨウチュウはどのように仲間とエサを見分けているのか？」



（企画） 学会活性化委員会（コンビーナ）野田 悟子， 矢吹 彬憲， 島野 智之

（注）
原生生物学会会員が参加する場合は，非会員参加費が必要です．
早期登録する場合は HP （https://www2.e-kenkyu. com/jsme2016/）から行ってください．非会員の参加費は以下の通りです．

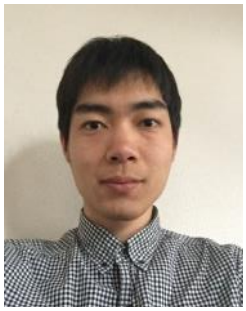
早期登録 8 / 31 まで	非会員・ 11, 000 円，	学生・ 6, 000 円
後期登録 9 / 1 まで	非会員・ 12, 000 円，	学生・ 7, 000 円
当日登録	非会員・ 13, 000 円，	学生・ 7, 000 円

※ 聴講のみの大学生（発表が連名になっていない学部生）は無料です（大学院生は学生参加費が必要）．

若手の会 通信

若手の会　会長　内之宮　光紀（理化学研究所）

若手の会　2016 in 岡山大会のご案内



今年度の若手 2016 in 岡山大会では，ミクロ生物フェスティバルと若手の会シンポジウムの合同開催を予定しております．ミクロ生物フェスティバルは，ミクロ生物に関する知識を共有し，研究・教育実践へとつなげていくことを目的とし，例年多くの市民の方に参加いただいています．若手の会シンポジウムでは，「原生生物のフシギ」というテーマのもと，一般の方も研究者も楽しめる講演を企画しています．シンポジウムの後には懇親会も行われますので，皆さまふるってご参加ください．

[会場] 岡山大学 一般教養棟　B301 （実験室） および A36 室

[開催日] 2016 年 10 月 8 日（土曜日）

[スケジュール（予定)]
13 : 00 －16 : 00 ミクロ生物フェスティバル：観察会【B301（実験室）】
＆スマホ顕微鏡ワークショップ【A36 室】
16 : 15 －17 : 30 若手の会シンポジウム（一般公開）「原生生物のフシギ」【A36 室】
18 : 30 －20 : 30 若手の会・評議員会 合同懇親会

原生動物園 Vol. 1 - 3 Web にて公開中!

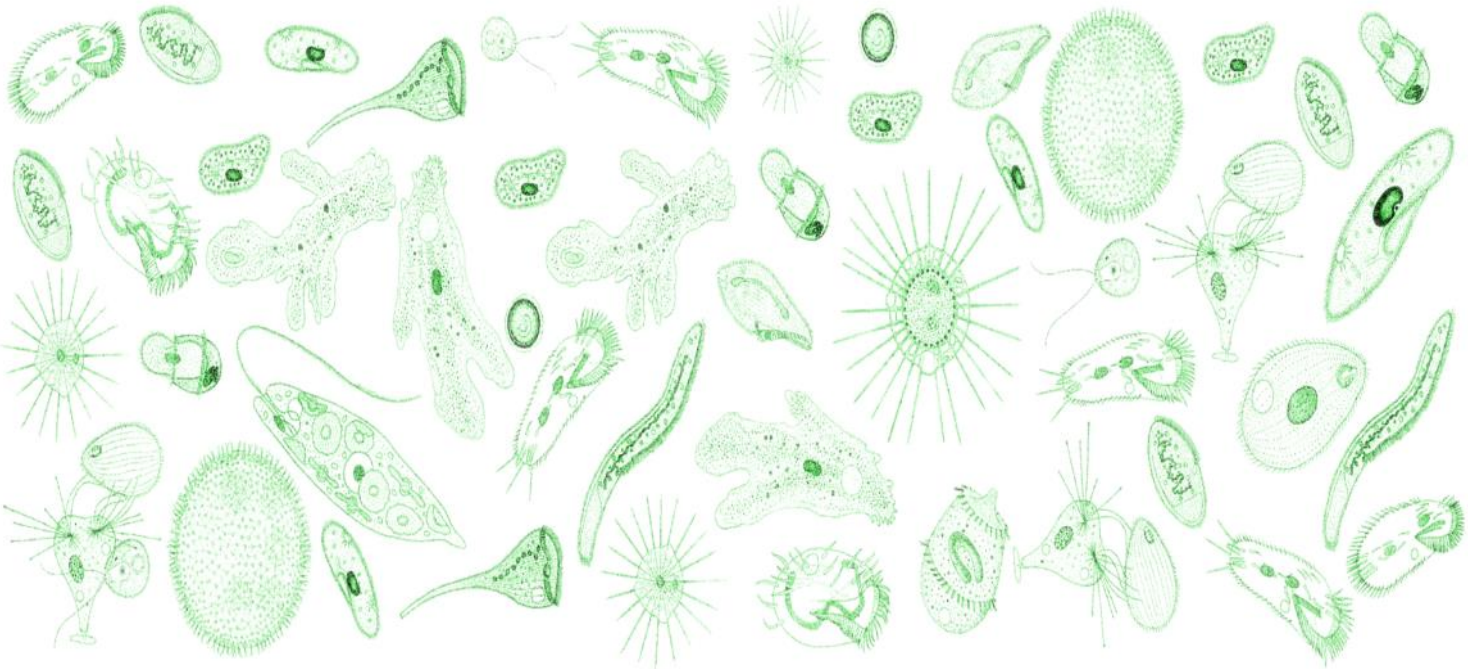
「原生動物園」は若手の会が発行を行っている Web 科学雑誌です．原生生物研究者の声や原生生物の魅力，知識などをたくさんの原生生物たちの写真とともに紹介しています．
原生動物園は若手の会ホームページにて公開していますので，どうぞ覧ください．
原生動物園ホームページ（https://sites.google.com/site/protozoolgarden/)

若手の会へご意見，ご要望をお寄せください

日本原生生物学会若手の会では，若手研究者の皆様のご意見を必要としています．若手を中心にこんなことをしたら面白い，こんな企画をぜひ行いたいなどのご意見，ご要望をどしどしお寄せください．また，若手の会役員も随時募集しています．興味のある方は 内之宮（kouki.uchinomiya@riken.jp)までご連絡ください．

若手の会ホームページをぜひご覧ください

https://sites.google.com/site/youngprotistologists/
若手の会メーリングリストへのご登録もお待ちしております．
protozoologists-subscribe@yahoogroups.jp に空メールを送付



Life is small －スマホ顕微鏡ワールドへようこそ－開催レポート

早川　昌志　（Life is small Project）

2016 年 6 月 16 日，仙台にて開催された日本顕微鏡学会第 72 回学術講演会において，スマホ顕微鏡に関する市民公開ワークショップ「 Life is small －スマホ顕微鏡ワールドへようこそ－」が実施されました．本ワークショップは，Life is small Project により運営され，私も世話人メンバーの一人として携わらせていただいたので，紹介させていただきます．

永山 國昭先生による講演

スマホ顕微鏡は，スマートフォンやタブレット PC を用いて，容易に顕微鏡の世界を見る事のできるツールで，生物・無生物問わずさまざまな試料を観察することができます．性能としては，正立顕微鏡の低倍率に匹敵し，ゾウリムシやボルボックスなど，比較的大型の原生生物の観察に適しています．観察像は，直接，スマートフォンやタブレット PC の画面上に映し出され，複数の人数で顕微鏡像を同時に観察できる事から，今回のワークショップのように，多くの来場者の方と，実際の原生生物の姿を共有する事に極めて役立ちます．

本ワークショップでは，6 人の演者によってスマホ顕微鏡に関する講演が行われ，スマホ顕微鏡の開発者でもある永山 國昭先生（総研大）がスマホ顕微鏡の歴史および原理について，佐藤 和正先生（ラ・サール中学・高校）が技術的な応用法について，長澤 友香先生（静岡科学館る・く・る）と竹下 陽子先生（お茶の水女子大）が生涯学習や学校教育における活用・実践について，私は原生生物を中心とした微生物の観察について，寺田 勉先生（青少年科学館ソ・ラール）が花粉の観察についてそれぞれ講演を行い，さまざまな立場からスマホ顕微鏡に関する話題提供が行われました．

加えて，実際にスマホ顕微鏡の観察を行える体験型ブースコーナーを設け，来場いただいた多くの方々に実際にスマホ顕微鏡を用いた観察を行っていただきました．

スマホ顕微鏡の原理は，直径 2 ミリ程度のボールレンズを，スマートフォンやタブレット PC のインカメラの上に載せる事によって像を拡大するものであり，かつてレーウェンフックが用いた単式顕微鏡と同じ原理になります．現在，普及している多くの顕微鏡は複式顕微鏡となるので，顕微鏡を専門とされている研究者にとっても新鮮なものとして体験できたという感想を多くいただきました．

来場者全員でのスマホ顕微鏡体験の様子

体験型ブースにおいてスマホ顕微鏡を囲んで顕微鏡像を共有

さらに専門ブースも提供し，長澤先生と竹下先生による教育ブースとして学校の理科教育で重要なメダカの発生のスマホ顕微鏡を用いた紹介と，私と松尾 恵梨子氏（筑波大）による微生物ブースとしてスマホ顕微鏡下でミドリムシやスピロストマムなどの原生生物を用いた実験法を紹介させていただきました．特にスピロストマムのような繊毛虫は研究者でも実際に観察した事のない方が多く，原生生物の良い紹介の場ともなったと思います．

今回，おかげさまで 80 名近い方に来場いただくことができ，微小な世界を多くの立場の方々と共有するノウハウについて深めることができました．この場を借りて，感謝申し上げます．

事務局からのお知らせ　　庶務　細谷 浩史（神奈川大学），庶務補佐　北出 理（茨城大学）

［会員による各種活動の申請時に本学会の後援，協賛などを希望する場合の検討依頼方法について］

平素，学会活動に御協力いただき有り難うございます．

会員の皆様は，当学会の活性化のため，シンポジウムの企画などさまざまな活動を計画されておられると思います．その際，会員の各種活動に対し，下記のような様々な立場（後援，協賛など）で参画することを（相手方から等）求められる場合があります．

当学会事務局では，会員の活動を積極的に応援するため，会員から「自身によるシンポジウムの企画などの各種申請に，日本原生生物学会の後援，協賛など（＊）を得たい」というご要望が有った場合，事務局（gajsp@protistology.jp）に随時ご希望を申請していただき迅速に可否を検討，その結果を会員にご連絡する，こととしております．

会員の皆様からのご連絡を随時お待ちしております．

日本原生生物学会会長 沼田 治

事務局からの補足：＊には，主催，共催，協賛，後援，特別協力，などの複数の種類があります．種類によっては，事故などがあった場合に，連帯責任の責務が生ずる場合があります．詳しくは庶務までご連絡下さい．

日本原生生物学会事務局　細谷・北出

編集委員会からのお知らせ　　原生動物学雑誌 編集委員会　編集長　廣野　雅文（法政大学）

新しい編集委員会が発足してからまだ半年ちょっとしか経っていませんが，原生動物学雑誌にとって歴史的とも言える大きな出来事がありました．当雑誌が J-STAGE に登載されることが決定されたのです．J-STAGE とは科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」のことで，これによって，手間も費用もかかる学会誌の電子ジャーナル化を容易かつ低コストで実現できます．つまり，国の支援によって，原生動物学雑誌の電子ジャーナル化とオープンアクセス化が同時に達成できることになったわけです．これもひとえに，前編集委員会がお骨折り下さり，会員の皆様が支援して下さったおかげです．

すでに最近 6 年間の論文については登載作業を終えており，8 月 1 日に公開予定です．また，それ以前の論文についても順次登載・公開して行く予定です．公開後には会員向けメーリングリストを通してアナウンスいたしますので，楽しみにお待ち下さい．

編集委員会では，これをきっかけとして，学会外，海外からの投稿も増えるのではないかと期待し，実際にそのような方向にもっていくためにはどうすればよいかを議論しています（例えば雑誌名の変更など）．しかし，なんと言っても原生動物学雑誌は会員のための雑誌ですので，皆様から論文，特に原著論文を投稿していただくことがたいへん重要です．一般に，オープンアクセス誌は高額な掲載料がかかりますが原生動物学雑誌は無料です．当雑誌へのご投稿をぜひご検討下さい．なお，投稿規定は過去の号の巻末，またはホームページに掲載されています．

皆様からのご投稿をお待ちしております．

原生動物学雑誌 編集委員会

編集・刊行 日本原生生物学会 編集局

〒 184-8584 東京都小金井市梶野町 3-7-2
法政大学 生命科学部 生命機能学科
日本原生生物学会 編集局（編集長：廣野 雅文）

Tel：042-387-6132 Fax：042-387-7002
E-mail：hirono@hosei.ac.jp

ニューズレター担当　道羅 英夫（静岡大学）
西山 学即（福島県立医科大学）

Protistology Newsletter 31 号は学会ホームページからもダウンロードできます．非会員の方への宣伝等にぜひご活用ください．

http://protistology.jp/journal/nl_letter/NL31.pdf